

(様式第10)

産医大発 220173 号

令和 4 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 産業医科大学  
理事長 生田 正之

産業医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
氏名	学校法人 産業医科大学 理事長 生田 正之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

産業医科大学病院
----------

3 所在の場所

〒807-8556 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
電話( 093 ) 691 - 7301

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科							有
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科	4腎臓内科	
<input type="radio"/>	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科	8代謝内科	
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			11リウマチ科	
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		○	6心臓血管外科		7内分泌外科		○ 8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	リハビリテーション科	3	病理診断科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
40				638	678	(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	439	55	445.6
歯科医師	11	2	11.1
薬剤師	47	0	47
保健師	1	0	1
助産師	51	0	51
看護師	764	31	790.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	2	0	2
管理栄養士	8	0	8

職種	員数
看護補助者	102
理学療法士	19
作業療法士	8
視能訓練士	6
義肢装具士	0
臨床工学士	22
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	49

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	55
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	15	
その他の技術員	20	
事務職員	130	
その他の職員	7	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	40	眼科専門医	7
外科専門医	31	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	9	放射線科専門医	16
小児科専門医	17	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	16
産婦人科専門医	13	救急科専門医	4
		合計	197

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 田中 文啓 ) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

- ・医療の質・安全管理委員会委員(平成26年4月1日～平成29年3月31日、令和2年4月1日～)
- ・医療安全管理責任者(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	511.8 人	2.7 人	514.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,504.8 人	60.6 人	1,565.4 人
1日当たり平均調剤数			1,181.0 剤
必要医師数			139.2125 人

必要歯科医師数	2	人
必要薬剤師数	18	人
必要(准)看護師数	312	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

#### 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	10 床	心電計	有
集中治療室	268.44 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
その他の救急蘇生装置			有	ペースメーカー	有	
無菌病室等			[固定式の場合] 床面積 161.5 m <sup>2</sup>	病床数	13 床	
	[移動式の場合]	台数 7 台				
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 16.96 m <sup>2</sup>					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	175.41 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、冷蔵庫、冷凍庫 他		
細菌検査室	66.41 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、全自動培地塗抹装置 他		
病理検査室	71.69 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パーチャルスライド作成機、免疫染色装置密閉式、自動固定包埋装置 他		
病理解剖室	58.53 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	特殊解剖台、排水細菌システム		
研究室	2233.3 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	実験台、冷蔵庫、冷凍庫、パソコン、測定・分析装置 他		
講義室	1203.5 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 10 室	收容定員	1,122	人
図書室	2480.0 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵書数	125,108	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

#### 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.7	%	逆紹介率	65.6	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,368 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,857 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,133 人		
	D: 初診の患者の数		18,078 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

#### 12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
----	----	---------------	------	------	---------------

横山 晋二	(学)久留米大学	○	医療に関する院外の専門家	無	1
林 ゆかり	(学)久留米大学		医療に関する院外の専門家	無	1
大杉 一之	(大)北九州市立大学		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の院外の者	無	2
阿部 慎太郎	(学)産業医科大学		病院長が指名する本学職員	有	1
高岡 通	(学)産業医科大学		本学病院事務部長	有	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
産業医科大学病院ホームページに掲載	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
11	66	球脊髄性筋萎縮症		先天性副腎皮質酵素欠損症	2
16	67	筋萎縮性側索硬化症		アジソン病	1
2	68	脊髄性筋萎縮症		サルコイドーシス	48
2	69	原発性側索硬化症		特発性間質性肺炎	51
6	70	進行性核上性麻痺		肺動脈性肺高血圧症	11
176	71	パーキンソン病		慢性血栓性肺高血圧症	8
3	72	大脳皮質基底核変性症		リンパ管筋腫症	1
3	73	ハンチントン病		網膜色素変性症	12
1	74	神経有棘赤血球症		特発性門脈圧亢進症	2
4	75	シャルコー・マリー・トゥース病		原発性胆汁性胆管炎	59
91	76	重症筋無力症		原発性硬化性胆管炎	4
83	77	多発性硬化症/視神経脊髄炎		自己免疫性肝炎	13
9	78	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー		クローン病	77
6	79	封入体筋炎		潰瘍性大腸炎	114
1	80	クドウ・深瀬症候群		好酸球性消化管疾患	1
9	81	多系統萎縮症		チャージ症候群	1
45	82	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)		クリオピリン関連周期熱症候群	1
2	83	ライソゾーム病		若年性特発性関節炎	7
2	84	副腎白質ジストロフィー		弾性線維性仮性黄色腫	1
1	85	ミトコンドリア病		脊髄空洞症	1
26	86	もやもや病		遺伝性ジストニア	2
9	87	HTLV-1関連脊髄症		前頭側頭葉変性症	2
1	88	特発性基底核石灰化症		アレキサンダー病	2
32	89	全身性アミロイドーシス		神経細胞移動異常症	1
1	90	遠位型ミオパチー		海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1
8	91	神経線維腫症		スタージ・ウェーバー症候群	1
20	92	天疱瘡		結節性硬化症	1
1	93	表皮水疱症		色素性乾皮症	1
17	94	膿疱性乾癬(汎発型)		類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
19	95	高安動脈炎		特発性後天性全身性無汗症	2
17	96	巨細胞性動脈炎		一次性ネフローゼ症候群	5
11	97	結節性多発動脈炎		紫斑病性腎炎	1
26	98	顕微鏡的多発血管炎		間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
18	99	多発血管炎性肉芽腫症		オスラー病	3
20	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
52	101	悪性関節リウマチ		ウィルソン病	8
3	102	バージャー病		クルーゾン症候群	2
3	103	原発性抗リン脂質抗体症候群		急速進行性糸球体腎炎	3
325	104	全身性エリテマトーデス		軟骨無形成症	1
98	105	皮膚筋炎/多発性筋炎		巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
149	106	全身性強皮症		ファンconi貧血	1
51	107	混合性結合組織病		ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
60	108	シェーグレン症候群		尿素サイクル異常症	1
22	109	成人スチル病		家族性地中海熱	4
8	110	再発性多発軟骨炎		慢性再発性多発性骨髄炎	6
3	111	筋ジストロフィー		強直性脊椎炎	41
70	112	ベーチェット病		特発性多中心性キャッスルマン病	12
19	113	特発性拡張型心筋症		自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
1	114	肥大型心筋症		クローンカイト・カナダ症候群	2
20	115	再生不良性貧血		IgG4関連疾患	17
3	116	自己免疫性溶血性貧血		黄斑ジストロフィー	2
2	117	発作性夜間ヘモグロビン尿症		遅発性内リンパ水腫	2
22	118	特発性血小板減少性紫斑病		好酸球性副鼻腔炎	46
5	119	原発性免疫不全症候群		進行性ミオクロームスてんかん	1
19	120	IgA腎症		特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
14	121	多発性嚢胞腎		無虹彩症	1
6		黄色靭帯骨化症			
54		後縦靭帯骨化症			
29		広範脊柱管狭窄症			
19		特発性大腿骨頭壊死症			
12		下垂体性ADH分泌異常症			
13		下垂体性PRL分泌亢進症			
5		クッシング病			
21		下垂体性成長ホルモン分泌亢進症			
86		下垂体前葉機能低下症			
			疾患数	121	
			合計患者数(人)	2,500	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理加算	・ウイルス疾患指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イ
・がん患者指導管理料ロ	・がん患者指導管理料ハ
・がん患者指導管理料ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・二次性骨折予防継続管理料1
・下肢創傷処置管理料	・院内トリアージ実施料
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・外来放射線照射診療料
・外来腫瘍化学療法診療料1	・連携充実加算
・ニコチン依存症管理料	・療養就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・遺伝学的検査	・染色体検査の注2に規定する基準
・骨髄微小残存病変量測定	・BRCA1/2遺伝子検査
・がんゲノムプロファイリング検査	・先天性代謝異常症検査
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(IV)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・長期継続頭蓋内脳波検査
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・脳波検査判断料1
・神経学的検査	・補聴器適合検査

・全視野精密網膜電図	・ロービジョン検査判断料
・コンタクトレンズ検査料1	・内服点滴誘発試験
・CT透視下気管支鏡検査加算	・画像診断管理加算3
・ポジトロン断層コンピューター断層複合撮影	・CT撮影及びMRI撮影
・冠動脈CT撮影加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・頭部MRI撮影加算
・肝エラストグラフィ加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算含)	・がん患者リハビリテーション料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・認知療法・認知行動療法1
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・人工腎臓
・導入期加算1	・透析液水質確保加算2及び慢性維持透析濾過加算
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病腎症に対するLDLアフェレシス療法
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・椎間板内酵素注入療法	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・角膜移植術(内皮移植加算)
・羊膜移植術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・網膜再建術	・人工中耳植込術
・人工内耳植込術	・内視鏡下鼻副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの) 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・経皮的中心筋焼灼術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・植込型除細動器移植術又は植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下肝切除術 (部分切除及び外側区域切除) (亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・膀胱水圧拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・体外式膜型人工肺管理料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。)
・輸血管理料Ⅱ	・輸血適正使用加算
・コーディネート体制充実加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(的手法)	・同種クリオプレシピテート作製術

・人工肛門人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算(乳房照射前立腺照射)
・強度変調放射線治療(IMRT)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外照射呼吸性移動対策加算	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・病理診断管理加算2	・デジタル病理画像による病理診断
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	ヘルパーT細胞におけるエピゲノム記憶の人為的修復によるSLE新規治療戦略の創出	中山田 真吾	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
2	ヒトB細胞分化におけるアミノ酸を介した免疫代謝機構の解明～SLE新規治療の創出～	岩田 慈	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
3	関節リウマチにおける神経伝達物質ドパミンを起点とした病態解明と新規治療法の開発	花見 健太郎	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
4	ヘルパーT細胞を介した免疫誘導性間葉転換のエピゲノム制御による免疫難病の新規治療	宮崎 佑介	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
5	終末糖化産物を介した低骨代謝回転型糖尿病性骨粗鬆症の分子制御機構の解明と治療応用	田中 健一	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
6	化学遺伝学的手法を応用したオキシトシンと摂食の概日リズム・食嗜好性連関の解明	園田 里美	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
7	ベーチェット病のゲノムワイド型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥50,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
8	ベーチェット病に関する調査研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥400,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
9	自己免疫疾患に関する調査研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
10	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
11	自己免疫性疾患の臓器病変局所におけるシングルセルRNAシーケンズを用いたマルチオミクス解析による病態解明基盤の構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥100,000	委 【東京大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
12	顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥300,000	委 【東京女子医科大学(AMED)】2021.4.1～2022.3.31
13	免疫オミクス情報の横断的統合による関節リウマチのゲノム個別化医療の実現	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥2,200,000	委 【大阪大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
14	ベーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリの構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥220,000	委 【横浜市立大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
15	次世代ゲノミクス研究による乾癬の疾患病態解明・個別化医療・創薬	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥3,500,000	委 【大阪大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
16	免疫担当細胞 eQOL データを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築	田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	¥300,000	委 【東京大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
17	高齢慢性心不全患者における心臓リハビリテーション中断の影響	荒木 優	循環器内科、腎臓内科	¥400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
18	左室拡大合併による僧帽弁逸脱の偽正常化現象	岩瀧 麻衣	循環器内科、腎臓内科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
19	左室収縮不全における僧帽弁尖組織延長の心不全軽減効果:3次元心エコー法による検討	赤司 純	循環器内科、腎臓内科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
20	自己管理アプリを用いた肺高血圧症のマインドフルネス/セルフマネジメントプログラム	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥60,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
21	新規遺伝子異常検出法を用いた難病疾患肺高血圧症遺伝子診断カタログ作成と臨床的発展	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥4,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
22	最新オミクス解析法に基づく抗癌剤治療による心血管障害発症の分子病態解明研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥850,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
23	心房中隔欠損症に伴う肺動脈性肺高血圧症の分子疫学的国際共同研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(国際共同研究強化B)
24	肺動脈性肺高血圧症の分子遺伝学的診断治療ガイドラインに向けたエビデンス創出研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥9,920,317	委 【日本医療研究開発機構(AMED) R3(2021).4.1～R4(2022).3.31
25	慢性血栓塞栓性肺高血圧症の分子遺伝学的エビデンス創出研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥9,999,801	委 【日本医療研究開発機構(AMED)】2021.4.21～2022.3.31
26	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症の分子遺伝学的エビデンス創出研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥10,000,000	委 【日本医療研究開発機構(AMED)】2021.4.21～2022.3.31
27	COVID-19ウイルスゲノムシーケンシングによるワクチン・薬剤耐性関連変異株・海外変異株の予防的国内監視システムの構築	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥1,000,000	委 【慶應義塾大学(AMED)】2021.4.23～2022.3.31
28	洞不全症候群の臨床情報・遺伝学的解析に基づくリスク層別化アルゴリズムの開発	安部 治彦	循環器内科、腎臓内科	¥100,000	委 【国立循環器病センター(AMED)】2021.4.1～2022.3.31
29	大規模検体を用いた難病疾患-肺動脈性肺高血圧症の分子遺伝学的病態基盤解明研究	片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	¥3,000,000	補 【持田記念医学薬学振興財団】2021.9.10～2022.12.31
30	非ウイルス性肝疾患でのオートファジーならびに封入体形成の意義	原田 大	消化管内科、肝胆膵内科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
31	全ての操作を遠隔化した消化器内視鏡治療ロボットの開発	久米 恵一郎	消化管内科、肝胆膵内科	¥1,200,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
32	肝細胞における銅や遊離脂肪酸による細胞障害に対する亜鉛の保護作用の検討	草永 真志	消化管内科、肝胆膵内科	¥1,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
33	一般細菌・抗酸菌・真菌の網羅的菌叢解析による下気道感染症の病態の解明	矢寺 和博	呼吸器内科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
34	疾患進行を示す膠原病関連間質性肺疾患の画像解析:胸部CTの新たな診断基準の策定	川口 貴子	呼吸器内科	¥2,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
35	マクロファージ貪食能に基づく肺非結核性抗酸菌症の新たな治療戦略	山崎 啓	呼吸器内科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
36	慢性好酸球性肺炎における好酸球特異的自己抗体の検索	川端 宏樹	呼吸器内科	¥900,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
37	有機高分子化合物の肺への有害性の検証	原 可奈子	呼吸器内科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
38	PD-1/Tim-3発現T細胞に着目したがん免疫療法関連薬剤性肺炎の機序解明	田原 正浩	呼吸器内科	¥1,500,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
39	慢性肺アスペルギルス症の病態における細菌叢、宿主因子としてマクロファージの検討	池上 博昭	呼吸器内科	¥1,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
40	架橋型アクリル酸系水溶性高分子化合物の粉体を取り扱う労働者に発生した呼吸器疾患に関する研究	矢寺 和博	呼吸器内科	¥11,540,000	補	労災疾病臨床研究事業費補助金(呼吸器疾患関連研究分野)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
41	超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究	矢寺 和博	呼吸器内科	¥216,000	委 【宮崎大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
42	無症状及び軽症COVID-19患者に対するネルフィナビルの有効性及び安全性を探索するランダム化非盲検並行群間比較試験	矢寺 和博	呼吸器内科	¥45,000	委 【長崎大学(AMED)】 2021.3.25～2022.3.31
43	ナファモスタットメシル酸塩の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する治療薬としての開発	矢寺 和博	呼吸器内科	¥500,000	委 【東京大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
44	神経変性疾患の病因蛋白質の毒性軽減による病態抑止治療法の開発	足立 弘明	脳神経内科、心療内科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
45	進行性ミオクロウナスてんかんの進行を止める病態抑止治療の開発	豊田 知子	脳神経内科、心療内科	¥2,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
46	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出(CBT実施、脳画像・心理臨床データ収集、画像解析)	兒玉 直樹	脳神経内科、心療内科	¥1,500,000	委 【国立精神・神経医療研究センター(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
47	ADHD患者の運動技能に与える影響の検討ー新たな臨床指標の開発に向けてー	小西 勇輝	神経・精神科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
48	機械学習を用いた統合失調症の運動適性判断指標の抽出	小西 勇輝	神経・精神科	¥400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
49	向精神薬服用中の患者群での運動技能評価	吉村 玲児	神経・精神科	¥1,000,000	委 【名古屋大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
50	新型コロナウイルス感染症罹患後に精神症状が出現した者に対する実態調査	吉村 玲児	神経・精神科	¥170,762	委 【九州大学(令和3年度障害者総合福祉推進事業費補助金)】2021.11.5～2022.3.31

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
51	医療的ケア児の家族の就労を支援する方策と支援策の効果指標の策定	荒木 俊介	小児科	¥1,200,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
52	次世代シーケンサーとクローンライブラリー法によるPFAPA症候群の咽頭細菌叢解析	楠原 浩一	小児科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
53	結合型肺炎球菌ワクチン低応答例の免疫学および細菌学的要因の検討と早期同定法の確立	保科 隆之	小児科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
54	重症心身障害児(者)の理想的な定期入院体制を解明する研究	福田 智文	小児科	¥400,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
55	JMMLに対する標準的治療法確立	本田 裕子	小児科	¥100,000	委	【名古屋大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
56	ヒアルロン酸分解酵素TMEM2の膵癌悪性化と微小環境ストレス耐性獲得における役割	佐藤 典宏	消化器・内分泌外科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
57	ヒアルロン酸代謝亢進フェノタイプとHippoシグナルを介した膵癌悪性化メカニズム	平田 敬治	消化器・内分泌外科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
58	膵癌における組織および消化管microbiomeの関連性解明と診断治療への応用	厚井 志郎	消化器・内分泌外科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
59	肺癌における新開発マイクロ流路システムを用いた循環腫瘍細胞の検出と臨床応用	田中 文啓	呼吸器・胸部外科	¥900,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
60	CTC-chipからの循環腫瘍細胞単離と遺伝子変異検索の臨床的有用性	森 将鷹	呼吸器・胸部外科	¥1,400,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
61	肺移植における第3群肺高血圧症の検討:NCXの関与と新規治療標的としての可能性	永田 旭	呼吸器・胸部外科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
62	胸部悪性腫瘍における免疫微小環境のモニタリングに関する研究	田中 文啓	呼吸器・胸部外科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
63	悪性脳腫瘍における5-アミノレプリン酸の放射線治療増強効果のメカニズムの解明	山本 淳考	脳神経外科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	慢性疼痛に対する視床下部-脊髄系の疼痛受容および抑制システムの解明	川崎 展	整形外科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
65	バゾプレッシンを可視化した遺伝子改変動物を用いた神経障害性疼痛機構の解明	鈴木 仁士	整形外科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
66	荷重増減下での骨-筋連関における分子メカニズムの解明とその制御法の開発	酒井 昭典	整形外科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
67	ロコモティブシンドロームと転倒の発生要因と相互作用の解明:縦断調査と介入研究	中村 英一郎	整形外科	¥1,500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
68	インスリン受容体基質に着目した2型糖尿病に伴う組織線維化機序の解明と予防	山中 芳亮	整形外科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
69	慢性閉塞性肺疾患(COPD)に合併する骨粗鬆症の病態メカニズム解明	塚本 学	整形外科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
70	ALDH2遺伝子多型におけるHR-pQCTを用いた骨微細構造と骨形成促進剤の関連	田島 貴文	整形外科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
71	CRPS類似モデル動物の骨代謝動態におけるTRPV1の関与の検討	馬場 一彦	整形外科	¥1,000,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
72	10年間の縦断調査に基づいた体幹筋面積減少リスク因子の検討	酒井 昭典	整形外科	¥1,500,000	委	垂水市立医療センター垂水中央病院
73	分子標的治療薬の重症アトピー性皮膚炎に伴う円形脱毛症への効果解析と病態解明	中村 元信	皮膚科	¥1,100,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
74	炎症性皮膚疾患と骨との免疫学的なクロストークの解析	佐々木 奈津子	皮膚科	¥1,600,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
75	黄斑低形成の臨床的および分子生物学的検討	近藤 寛之	眼科	¥1,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
76	医療従事者を対象とした放射線白内障自動診断システム構築及び放射線防護教育の実践	永田 竜朗	眼科	¥900,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	頭部IVRを対象に放射線白内障の線量応答を解明し将来の発症リスクを予測する	永田 竜朗	眼科	¥50,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
78	リパスジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発	近藤 寛之	眼科	¥1,056,100	委	【九州大学(AMED)】 2021.4.1~2022.3.31
79	鼻粘膜上皮細胞の細胞内Ca振動による線毛運動の制御—単離ヒト鼻粘膜細胞による解析	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥500,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
80	子宮頸部小細胞癌の臨床病理学的解析と治療抵抗性メカニズムの解明	吉野 潔	産婦人科	¥1,300,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
81	婦人科がん患者の就労支援ー保健師教育プログラムとスマートフォンアプリの開発ー	松浦 祐介	産婦人科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	がん微小環境の制御による腫瘍細胞の分化転換	原田 大史	産婦人科	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
83	妊娠と出産が就労に与える身体的・社会的影響についての研究	金城 泰幸	産婦人科	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
84	子宮頸部病変自動診断システムの開発～低医療資源国における子宮頸がん予防に向けて～	吉野 潔	産婦人科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
85	糖代謝異常の病態下におけるメチル水銀の母仔移行に関する研究	柴田 英治	産婦人科	¥300,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
86	CT検診画像および総合健診データによる生活習慣と関連した骨折リスク評価研究	青木 隆敏	放射線科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
87	高精度な電磁界シミュレーション技術を用いた新たな温熱療法の開発	大栗 隆行	放射線科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
88	マルチパラメトリックMRIによる中枢神経ループスの活動性バイオマーカーの創出	井手 智	放射線科	¥1,800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
89	新規鎮痛薬・鎮痛法開発を目指したNav1.7機能喪失型先天性無痛症の病態機序解明	堀下 貴文	麻酔科	¥1,100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
90	脊髄後根神経節細胞における電位依存性ナトリウムチャネルの麻酔機序に果たす機能解析	堀下 貴文	麻酔科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
91	経頭蓋直流電気刺激が脳卒中後の神経可塑性に関連する生化学的因子に与える効果	伊藤 英明	リハビリテーション科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
92	非特異的慢性腰痛に対する中枢性電気刺激の除痛効果に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
93	末梢性の上肢麻痺に対する経頭蓋直流電気刺激療法の効果についての研究	松嶋 康之	リハビリテーション科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
94	肘部管症候群における術中末梢神経電気刺激療法—神経再生とBDNF遺伝子多型—	蜂須賀 明子	リハビリテーション科	¥700,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
95	手指を対象とした末梢効果器型訓練支援ロボットの開発と臨床適応に関する研究	越智 光宏	リハビリテーション科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
96	変形性疾患を有する高齢労働者に発症した職業性腰痛の労災補償に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥4,000,000	補 労災疾病臨床研究事業費補助金(2.業務上の負傷と基礎疾患の関係に関する研究分野)
97	リハビリテーションロボット機器の有用性と運用に関する研究	佐伯 覚	リハビリテーション科	¥500,000	委 【藤田医科大学(AMED)】 2021.4.1～2022.3.31
98	3次元心エコーを用いた左室・左房容量比の予後予測能に関する検討	竹内 正明	臨床検査・輸血部	¥500,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
99	妊娠期の母の腸内細菌由来水素ガスが胎児及び成長後の疾病へ及ぼす影響に関する研究	中山 敏幸	病理診断科	¥100,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
100	慢性腎不全におけるサルコペニアと炎症マーカー～炎症性サイトカインの網羅的検討～	宮本 哲	腎センター	¥300,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
101	白血病細胞に対するステロイド様抗がん剤抵抗性の機序解明から個別化診断への応用	中西 司	血液内科	¥1,200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
102	MRSA骨軟部感染症に対する持続局所抗菌薬灌流療法の実用化のための微生物学的検証	善家 雄吉	救急科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
103	院内における放射線業務従事者を対象とした放射線被ばく原因究明ツールの開発と実践	蒲地 正幸	集中治療部	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
104	神経障害性疼痛制御における中枢神経スフィンゴシン1リン酸シグナル伝達系の役割	原 幸治	手術部	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	独創的なマウスモデルを用いた劇症型レンサ球菌感染症の細菌側の発症メカニズムの解明	齋藤 光正	感染制御部	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	サルコイドーシスの疾患進行における肺胞マクロファージフェノタイプの役割の検討	赤田 憲太郎	感染制御部	¥800,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
107	細菌ストレス応答の動的過程解明:エレクトロニクスに創発された新細菌同定法への展開	齋藤 光正	感染制御部	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B(一般))
108	ADHDの傾向を有する労働者のコホート調査	永田 昌子	両立支援科	¥600,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
109	プレゼンティーズム評価によるスクリーニングと事後措置介入の有効性の検証	森 晃爾	両立支援科	¥1,400,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
110	両立支援における疾患毎の復職課題と休業期間との関連性の解明	原田 有理沙	両立支援科	¥1,000,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
111	労働者コホートによる職場の差別が障害や疾病と精神的健康との関係に与える影響の解明	江口 尚	両立支援科	¥900,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
112	グローバル企業における日本人労働者と海外現地労働者の健康状態の比較	森 晃爾	両立支援科	¥200,000	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C(一般))
113	中小企業等における治療と仕事の両立支援の取り組み促進のための研究	立石 清一郎	両立支援科	¥3,250,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)
114	医療機関における治療と仕事の両立支援の推進に資する研究	立石 清一郎	両立支援科	¥7,746,000	補 厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)
115	健康診査・保健指導における健診項目等の必要性、妥当性の検証、及び地域における健診実施体制の検討のための研究	立石 清一郎	両立支援科	¥1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
116	特定健康診査および特定保健指導における問診項目の妥当性検証と新たな問診項目の開発研究	立石 清一郎	両立支援科	¥250,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
117	職域がん検診における精度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実用化に関する研究	永田 昌子	両立支援科	¥1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
118	事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究	江口 尚	両立支援科	¥7,000,000	補 労災疾病臨床研究事業費補助金(治療と仕事の両立支援関連研究分野)
119	治療と仕事の両立支援に関する基盤整備および拡充に資する研究	立石 清一郎	両立支援科	¥7,700,000	補 労災疾病臨床研究事業費補助金(3.治療と仕事の両立支援分野)
120	産業医制度に関する課題把握と産業医の育成および質の向上による課題解決のための調査研究	森 晃爾	両立支援科	¥11,500,000	補 労災疾病臨床研究事業費補助金(4.産業保健関連研究分野)
121	放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究	江口 尚	両立支援科	¥6,792,870	補 労災疾病臨床研究事業費補助金(放射線影響研究分野)

小計10

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
122	小規模零細事業場の構成員に必要な支援を効率的に提供するツールと仕組みを通してメンタルヘルス対策を神とさせることを目指す実施研究	江口 尚	両立支援科	¥1,000,000	補	労災疾病臨床研究事業費補助金(メンタルヘルス研究分野)
123	職域における総合的感染症予防対策に資するガイドラインの作成、体制整備、ツールの開発に関する研究	森 晃爾	両立支援科	¥1,200,000	補	労災疾病臨床研究事業費補助金(職場における感染症対策関連研究分野)
124	組織的介入による多角的な職場のメンタルヘルス対策の効果検証を目的とするクラスター無作為化比較試験	江口 尚	両立支援科	¥200,000	委	【北里大学(AMED)】 2021.12.15~2022.3.31
125	民間文化施設等サポート事業研究業務	森 晃爾	両立支援科	¥220,000	委	北九州市
126	民間文化施設等サポート事業研究業務	森 晃爾	両立支援科	¥396,000	委	北九州市
127	産学官連携によるイベント開催における感染防止対策研究業務	森 晃爾	両立支援科	¥435,600	委	北九州市
128	在留外国人にとっての医療問題は医療者との熟議でどこまで解決可能か？	森 朋有	総合診療科	¥900,000	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計8  
計128件

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを称する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Okamoto N, Konishi Y, Tesen H, et al.	認知症センター	A Low Clozapine Dose Improved Refractory Tardive Dystonia without Exacerbating Psychiatric Symptoms: A Case Report	Int Med Case Rep J 2021 Apr;14:237-239	Case Report
2	Shiraishi T, Yamasaki K, Tahara M, et al.	緩和ケアセンター	Respiratory Failure after the Use of a New Hair Spray	Intern Med 2021 Apr 1;60(7):1129-1131	Case Report
3	Tanaka Y, Sato- Kanda Y, Yoshinari H, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Lung transplantation resulted in marked improvement of autoimmunity and scleroderma in diffuse cutaneous systemic sclerosis: a case report	Rheumatology (Oxford) 2021 Apr;60(4):e129-e131	Case Report
4	Tanaka Y, Takeuchi T, Yamanaka H, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Efficacy and Safety of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody, in Patients With Active Rheumatoid Arthritis With Inadequate Response to Methotrexate: Results of a Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Phase II Study	Arthritis Rheumatol 2021 Apr;73(4):587- 595	Original Article
5	Yoshimura R, Ikenouchi A, Okamoto N, et al.	神経・精神科	A Case of Major Depression with Burning Mouth Syndrome and Tinnitus Successfully Treated with Vortioxetine	Int Med Case Rep J 2021 Apr 28;14:271- 273	Case Report
6	Saito-Sasaki N, Sawada Y, Okada E, et al.	皮膚科	Cell Adhesion Molecule 1 (CADM1) Is an Independent Prognostic Factor in Patients with Cutaneous Squamous Cell Carcinoma	Diagnostics (Basel) 2021 May;11(5):830 (オンライン)	Original Article
7	Sawada Y, Nakamura M.	皮膚科	Daily Lifestyle and Cutaneous Malignancies	Int J Mol Sci 2021 May 14;22(10):5227 (オンライン)	Review
8	Sawada Y, Saito- Sasaki N, Mashima E, et al.	皮膚科	Daily Lifestyle and Inflammatory Skin Diseases	Int J Mol Sci 2021 May 14;22(10):5204 (オンライン)	Review
9	Sawada Y, Setoyama A, Sakuragi Y, et al.	皮膚科	The Role of IL-17-Producing Cells in Cutaneous Fungal Infections	Int J Mol Sci 2021 May 28;22(11):5794 (オンライン)	Review
10	Yoshimura R, Okamoto N, Konishi Y, et al.	神経・精神科	Associations between plasma levels of C- reactive protein and catecholamine metabolites in patients with major depression	Ther Adv Psychopharmacol 2021 May ;11:20451253211015837 (オンライン)	Letters

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
11	Aoki T, Kamiya T, Lu H, et al.	放射線科	CT temporal subtraction: techniques and clinical applications	Quant Imaging Med Surg 2021 Jun;11(6):2214-2223	Others
12	Asano M, Tsukamoto S, Sonoda KH, et al.	眼科	Revesz syndrome with bilateral retinal detachments successfully treated by pars plana vitrectomy	Am J Ophthalmol Case Rep 2021 Jun 16;23:101137	Case Report
13	Honma Y, Miyagawa K, Hara Y, et al.	消化器内科、肝胆膵内科	Correlation of hepatitis C virus-mediated endoplasmic reticulum stress with autophagic flux impairment and hepatocarcinogenesis	Med Mol Morphol 2021 Jun;54(2):108- 121	Original Article
14	Karasuyama T, Honma Y, Kumamoto K, et al.	消化器内科、肝胆膵内科	Hepatocyte Growth Factor and Primary Systemic Amyloidosis	J UOEH 2021 Jun;43(2):227-233	Case Report
15	Kondo H, Matsushita I, Nagata T, et al.	眼科	Retinal Features of Family Members With Familial Exudative Vitreoretinopathy Caused By Mutations in KIF11 Gene	Transl Vis Sci Technol 2021 Jun 1;10(7):18 (オンライン)	Original Article
16	Miyazaki Y, Nakano K, Nakayamada S, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Serum TNF $\alpha$ levels at 24 h after certolizumab pegol predict effectiveness at week 12 in patients with rheumatoid arthritis from Tsubame study	Arthritis Res Ther 2021 Jun 1;23(1):154	Original Article
17	Mori M, Ibayashi K, Kanayama M, et al.	呼吸器・胸部外科	The role of heparin bridging in lung cancer surgery: a nationwide database analysis	Surg Today 2021 Jun 51(6):923-930	Original Article
18	Shibao K, Inoue Y, Sawatsubashi Y, et al.	消化器・内分泌外科	iTriangular Stapling Technique: A Novel Reconstruction Method and Clinical Outcomes of Cervical Esophagogastric Anastomosis after Esophagectomy	World J Surg 2021 Jun;45(6):1828-1834	Original Article
19	Shibao K, Joden F, Adachi Y, et al.	消化器・内分泌外科	Repeated partial tissue bite with inadequate cooling time for an energy device may cause thermal injury	Surg Endosc 2021 Jun;35(6):3189-3198	Others
20	Sugino H, Nakamura M.	皮膚科	Mild hypertrichosis in both upper arms around dupilumab injection sites	Eur J Dermatol 2021 Jun 1;31(3):420-421	Letters

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
21	Tanaka Y, Millson D, Iwata S, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Safety and efficacy of fostamatinib in rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to methotrexate in phase II OSKIRA-ASIA-1 and OSKIRA- ASIA-1X study	Rheumatology (Oxford) 2021 Jun;60(6):2884-2895	Original Article
22	Yoshimura R, Ikenouchi A, Okamoto N, et al.	神経・精神科	Vortioxetine Improved Depressive State In Parkinson's Disease	Cureus 2021 Jun ;13(6):e15750 (オンライン)	Case Report
23	Imazu N, Oe S, Tsuda Y, et al.	消化器内科、肝胆膵内科	Rapidly Progressing Anaplastic Carcinoma of the Pancreas with Mucoepidermoid Carcinoma: An Autopsy Case Report	Intern Med 2021 Jul;60(14):2235-2240	Case Report
24	Iwanaga Y, Kawanami T, Yamasaki K, et al.	呼吸器内科	A fatal case of COVID-19-associated invasive pulmonary aspergillosis	J Infect Chemother 2021 Jul;27(7):1102- 1107	Case Report
25	Kanayama M, Oyama R, Mori M, et al.	呼吸器・胸部外科	Novel circulating tumor cell-detection chip combining conventional podoplanin and EGFR antibodies for all histological malignant pleural mesothelioma	Oncol Lett 2021 Jul;22(1):522	Original Article
26	Minato A, Noguchi H, Moriya R, et al.	泌尿器科	Evaluation of the Extent of Variant Histology in Urothelial Carcinoma as a Predictive Marker of Clinical Outcomes After Radical Cystectomy	Cancer Diagn Progn 2021 Jul 3;1(4):345- 351	Original Article
27	Okamoto N, Ikenouchi A, Seki I, et al.	認知症センター	Cerebral Amyloid Angiopathy With a Hypomanic Episode Treated With Valproic Acid	Cureus 2021 Jul ;13(7):e16411 (オンライン)	Case Report
28	Okamoto N, Natsuyama T, Igata R, et al.	認知症センター	Associations Between the Kynurenine Pathway, Proinflammatory Cytokines, and Brain-Derived Neurotrophic Factor in Hospitalized Patients With Chronic Schizophrenia: A Preliminary Study	Front Psychiatry 2021 Jul;12:696059 (オンライン)	Original Article
29	Oku K, Hamijoyo L, Kasitanon N, et al.	眼科	Prevention of infective complications in systemic lupus erythematosus: A systematic literature review for the APLAR consensus statements	Int J Rheum Dis 2021 Jul;24(7):880-895	Review
30	Sugino H, Sawada Y, Nakamura M.	皮膚科	IgA Vasculitis: Etiology, Treatment, Biomarkers and Epigenetic Changes	Int J Mol Sci 2021 Jul 14;22(14):7538	Review

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
31	Tanaka Y, Bae SC, Bass D, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Long-term open-label continuation study of the safety and efficacy of belimumab for up to 7 years in patients with systemic lupus erythematosus from Japan and South Korea	RMD Open 2021 Jul;7(2):e001629 (オンライン)	Original Article
32	Tsukamoto M, Kawasaki M, Suzuki H, et al.	整形外科	Proposal of accurate cup placement procedure during total hip arthroplasty based on pelvic tilt discrepancies in the lateral position	Sci Rep 2021 Jul 6;11(1):13870 (オンライン)	Original Article
33	Higashi Y, Yamasaki K, Orihashi T, et al.	呼吸器内科	Waterproof spray-induced lung injury while using a heater	Respirol Case Rep 2021 Aug 5;9(9):e0825 (オンライン)	Case Report
34	Ishikawa S, Miyagawa I, Kusanaga M, et al.	救急科	Association of frailty on treatment outcomes among patients with suspected infection treated at emergency departments	Eur J Emerg Med 2021 Aug;28(4):285-291	Original Article
35	Setoyama A, Sawada Y, Saito-Sasaki N, et al.	循環器内科、腎臓内科	Psoriasis epidemiology screening tool (PEST) is useful for the detection of psoriatic arthritis in the Japanese population	Sci Rep 2021 Aug 9;11(1):16146 (オンライン)	Original Article
36	Takahashi H, Ogawa M, Hoshina T, et al.	小児科	Multiple Nodules in the Kidney and Spleen Presenting as the Initial Manifestation of Crohn Disease	Inflamm Bowel Dis 2021 Aug 27(8):e91-e92	Letters
37	Tanaka Y, Takeuchi T, Izutsu H, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Patient- and physician-reported outcomes from two phase 3 randomized studies (RAJ3 and RAJ4) of peficitinib (ASP015K) in Asian patients with rheumatoid arthritis	Arthritis Res Ther 2021 Aug;23(1):221	Original Article
38	Harada M, Tomisaki I, Minato A, et al.	泌尿器科	Combination therapy with paclitaxel and gemcitabine after platinum-based chemotherapy in patients with advanced urothelial cancer	Int J Urol 2021 Sep;28(9):970-974	Original Article
39	Ishikawa S, Narita M, Tamune M, et al.	救急科	Resuscitative Endovascular Balloon Occlusion of the Aorta for Hemorrhagic Shock Due to a Gastric Ulcer: A Case Report	J UOEH 2021 Sep;43(3):363-366	Case Report
40	Kawasaki M, Kaneyama R, Suzuki H, et al.	整形外科	Component gap control during posterior-stabilised total knee arthroplasty using the posterior condylar pre-cut technique	J Exp Orthop 2021 Sep 15;8(1):77	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
41	Kusanaga M, Tokutsu K, Narita M, et al.	消化器内科、肝胆膵内科	Early Enteral Nutrition is Related to Decreased In-hospital Mortality and Hospitalization in Patients with Acute Pancreatitis: Data from the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database	J UOEH 2021 Sep;43(3):313-321	Original Article
42	Matsumoto M, Yamamoto S.	泌尿器科	AAUS guideline for acute bacterial prostatitis 2021	J Infect Chemother 2021 Sep;27(9):1277- 1283	Others
43	Miyazaki Y, Nakano K, Nakayamada S, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Efficacy and safety of tofacitinib versus baricitinib in patients with rheumatoid arthritis in real clinical practice: analyses with propensity score-based inverse probability of treatment weighting	Ann Rheum Dis 2021 Sep;80(9):1130-1136	Original Article
44	Tanaka F, Takenaka M, Imanishi N, et al.	呼吸器・胸部外科	Non-incisional pleurectomy/decortication for malignant pleural mesothelioma	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2021 Sep;69(9):1320-1325	Original Article
45	Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌 代謝糖尿病内科	Genome-oriented treatment strategies for autoimmune diseases	Inflamm Regen 2021 Sep;41(1):30	Others
46	Tokuda K, Yamanaka Y, Mano Y, et al.	整形外科	Effect of metformin treatment and its time of administration on joint capsular fibrosis induced by mouse knee immobilization	Sci Rep 2021 Sep;11(1):17978 (オンライン)	Original Article
47	Watanabe S, Hoshina T, Kojiro M, et al.	小児科	The recent characteristics of influenza-related hospitalization in Japanese children	Eur J Clin Microbiol Infect Dis 2021 Sep;40(9):2011-2015.	Others
48	Yamanaka Y, Tajima T, Tsumimura Y, et al.	整形外科	Molecular and Clinical Elucidation of the Mechanism of Action of Steroids in Idiopathic Carpal Tunnel Syndrome	J Bone Joint Surg Am 2021 Sep;11(9):e053325	Others
49	Asano T, Oku K, Kondo H.	眼科	Familial exudative vitreoretinopathy with TGFB2 mutation without signs of Loeys-Dietz syndrome	Ophthalmic Genet 2021 Oct;42(5):637- 640	Letters
50	Eguchi H, Hino A, Inoue A, et al.	両立支援科	Effect of Anxiety About COVID-19 Infection in the Workplace on the Association Between Job Demands and Psychological Distress	Front Public Health 2021 Oct 13;9:722071	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
51	Ikegami H, Noguchi S, Fukuda K, et al.	呼吸器内科	Refinement of microbiota analysis of specimens from patients with respiratory infections using next-generation sequencing	Sci Rep 2021 Oct;11(1):19534	Original Article
52	Iwata S, Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Therapeutic perspectives on the metabolism of lymphocytes in patients with rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus	Expert Rev Clin Immunol 2021 Oct;17(10):1121-1130	Review
53	Nakayamada S, Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Clinical relevance of T follicular helper cells in systemic lupus erythematosus	Expert Rev Clin Immunol 2021 Oct;17(10):1143-1150	Review
54	Ishikawa S, Teshima Y, Otsubo H, et al.	救急科	Risk prediction of biomarkers for early multiple organ dysfunction in critically ill patients	BMC Emerg Med 2021 Nov;21(1):132	Original Article
55	Iwata S, Zhang M, Hajime M, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Pathological role of activated mTOR in CXCR3+ memory B cells of rheumatoid arthritis	Rheumatology (Oxford) 2021 Nov 3;60(11):5452-5462	Original Article
56	Kato K, Tsutsui M, Noguchi S, et al.	呼吸器内科	Spontaneous pulmonary emphysema in mice lacking all three nitric oxide synthase isoforms	Sci Rep 2021 Nov;11(1):22088	Original Article
57	Kawabata H, Satoh M, Yatera K.	呼吸器内科	Development of Rheumatoid Arthritis During Anti-Interleukin-5 Therapy in a Patient with Refractory Chronic Eosinophilic Pneumonia	J Asthma Allergy 2021 Nov;14:1425-1430	Case Report
58	Minokawa Y, Sawada Y, Nakamura M.	皮膚科	The Influences of Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acids on the Development of Skin Cancers	Diagnostics (Basel) 2021 Nov;11(11):2149	Review
59	Mizuno K, Sumiyoshi T, Okegawa T, et al.	救急科	Clinical Impact of Detecting Low-Frequency Variants in Cell-Free DNA on Treatment of Castration-Resistant Prostate Cancer	Clin Cancer Res 2021 Nov;27(22):6164-6173	Original Article
60	Nawata M, Someya K, Funada M, et al.	病理診断科	Association between ultrasound images and patient-reported outcomes in the treatment of rheumatoid arthritis: a retrospective study	BMC Rheumatol 2021 Nov 22;5(1):49	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
61	Oku K, Tokutsu K, Matsuda S.	眼科	Epidemiologic study of rhegmatogenous retinal detachment in Japan from the Diagnosis Procedure Combination database over a 2-year period (2014-2015)	Jpn J Ophthalmol 2021 Nov;65(6):797-802	Original Article
62	Oyama R, Takenaka M, Tanaka K, et al.	呼吸器・胸部外科	Splenic infarction after left upper lobectomy: a report of a case	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2021 Nov;69(11):1506-1510	Case Report
63	Sato S, Sawada Y, Nakamura M.	皮膚科	STING Signaling and Skin Cancers	Cancers (Basel) 2021 Nov;13(22):5603 (オンライン)	Review
64	Tanaka Y, Takeuchi T, Soen S, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Effects of Denosumab in Japanese Patients With Rheumatoid Arthritis Treated With Conventional Antirheumatic Drugs: 36-month Extension of a Phase III Study	J Rheumatol 2021 Nov;48(11):1663-1671	Original Article
65	Yatera K, Noguchi S, Mukae H.	呼吸器内科	Perspective on the clone library method for infectious diseases	Respir Investig 2021 Nov;59(6):741-747	Review
66	Kumei S, Sakurai T, So S, et al.	消化器内科、肝胆膵内科	Impact of the Concomitant Use of Immunomodulator and a Lower Week 8 Partial Mayo Score on the Persistence of Adalimumab in Refractory Ulcerative Colitis	Intern Med 2021 Dec;60(24):3849-3856	Original Article
67	Nakano Y, Suzuki K, Saito T, et al.	脳神経外科	Atypical and Fibrous Meningioma with Differential Cerebral Blood Volume on Magnetic Resonance Imaging: A Case Report	J UOEH 2021 Dec;43(4):415-419	Case Report
68	Okamoto N, Hoshikawa T, Ikenouchi A, et al.	認知症センター	Comparison of psychiatric symptoms between patients with major depression with higher and lower levels of high-sensitivity C-reactive protein in the serum: a preliminary study	Ther Adv Psychopharmacol 2021 Dec 15;11:20451253211060228	Original Article
69	Okamoto N, Ikenouchi A, Watanabe K, et al.	認知症センター	A Metabolomics Study of Serum in Hospitalized Patients With Chronic Schizophrenia	Front Psychiatry 2021 Dec;12:763547 (オンライン)	Original Article
70	Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Recent progress in treatments of rheumatoid arthritis: an overview of developments in biologics and small molecules, and remaining unmet needs	Rheumatology (Oxford) 2021 Dec;60(Suppl 6):vi12-vi20	Review

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
71	Kawase M, Ogawa M, Hoshina T, et al.	総合周産期母子医療センター	Case Report: Japanese Siblings of Cystic Fibrosis With a Novel Large Heterozygous Deletion in the CFTR Gene	Front Pediatr 2022 Jan 3;9:800095 (オンライン)	Case Report
72	Minato A, Noguchi H, Kimuro R, et al.	泌尿器科	Prognostic Value of Squamous Differentiation in Upper Tract Urothelial Carcinoma Treated With Radical Nephroureterectomy	Anticancer Res 2022 Jan;42(1):263-269	Original Article
73	Nakahara S, Ohguri T, Kakinouchi S, et al.	放射線治療科	Intensity-Modulated Radiotherapy with Regional Hyperthermia for High-Risk Localized Prostate Carcinoma	Cancers (Basel) 2022 Jan;14(2):400 (オンライン)	Original Article
74	Saito-Sasaki N, Sawada Y, Nakamura M.	皮膚科	Maresin-1 and Inflammatory Disease	Int J Mol Sci 2022 Jan;23(3):1367 (オンライン)	Review
75	Saito-Sasaki N, Sawada Y, Sato S, et al.	皮膚科	Possible beneficial impact of surgical deroofing procedure to cover the disadvantage of adalimumab treatment for hidradenitis suppurativa	J Dermatol 2022 Jan;49(1):e3-e4	Case Report
76	Shiraishi T, Oda K, Yamasaki K, et al.	緩和ケアセンター	Risk factors for in-hospital mortality in patients with advanced lung cancer with interstitial pneumonia undergoing systemic chemotherapy: A retrospective and observational study using a nationwide administrative database in	Thorac Cancer 2022 Jan;13(2):236-246	Original Article
77	Tanaka K, Okada Y, Tokutsu A, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Real-world effectiveness of liraglutide versus dulaglutide in Japanese patients with type 2 diabetes: a retrospective study	Sci Rep 2022 Jan;12(1):154 (オンライン)	Original Article
78	Tanaka Y, Kavanaugh A, Wicklund J, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Filgotinib, a novel JAK1-preferential inhibitor for the treatment of rheumatoid arthritis: An overview from clinical trials	Mod Rheumatol 2022 Jan;32(1):1-11	Review
79	Tesen H, Watanabe K, Okamoto N, et al.	神経・精神科	Volume of Amygdala Subregions and Clinical Manifestations in Patients With First-Episode, Drug-Naïve Major Depression	Front Hum Neurosci 2022 Jan;15:780884 (オンライン)	Original Article
80	Wada T, Kondo E, Shibata E, et al.	産婦人科	Difficulties in Differentiating Hypertensive Disorders of Pregnancy With Polyarteritis Nodosa	J Med Cases 2022 Jan;13(1):5-10	Case Report

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
81	Hoshikawa T, Okamoto N, Natsuyama T, et al.	神経・精神科	Associations of Serum Cytokines, Growth Factors, and High-Sensitivity C-Reactive Protein Levels in Patients with Major Depression with and without Type 2 Diabetes Mellitus: An Explanatory Investigation	Neuropsychiatr Dis Treat 2022 Feb 3;18:173-186	Original Article
82	Iio K, Kondo E, Shibata E, et al.	産婦人科	Long-Term Tocolysis With Magnesium Sulfate as a Risk Factor for Low Bone Mass: A Case Series	J Med Cases 2022 Feb;13(2):47-50	Case Report
83	Iwata S, Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Association of Viral Infection With the Development and Pathogenesis of Systemic Lupus Erythematosus	Front Med (Lausanne) 2022 Feb 25;9:849120 (オンライン)	Review
84	Kuma A, Mafune K, Uchino B, et al.	腎センター	Development of chronic kidney disease influenced by serum urate and body mass index based on young-to-middle-aged Japanese men: a propensity score-matched cohort study	BMJ Open 2022 Feb;12(2):e049540 (オンライン)	Original Article
85	Tanaka K, Okada Y, Torimoto K, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Hypoglycemia induces vascular endothelial dysfunction in subjects with normal glucose tolerance	Sci Rep 2022 Feb;12(1):2598 (オンライン)	Original Article
86	Tanaka Y, Matsubara T, Atsumi T, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Efficacy and safety of filgotinib in combination with methotrexate in Japanese patients with active rheumatoid arthritis who have an inadequate response to methotrexate: Subpopulation analyses of 24-week data of a global phase 3 study (FINCH 1)	Mod Rheumatol 2022 Feb 28;32(2):263-272	Original Article
87	Wakasugi T, Takeuchi S, Ohkubo JI, et al.	耳鼻咽喉科、頭頸部外科	Retreatment with nivolumab for patients with recurrent and/or metastatic head and neck cancer	Acta Otolaryngol 2022 Feb;142(2):206-212	Case Report
88	Nakayamada S, Tanaka Y.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Pathological relevance and treatment perspective of JAK targeting in systemic lupus erythematosus	Expert Rev Clin Immunol 2022 Mar;18(3):245-252	Review
89	Nishida C, Yatera K.	呼吸器内科	The Impact of Ambient Environmental and Occupational Pollution on Respiratory Diseases	Int J Environ Res Public Health 2022 Mar;19(5): 2788.	Review
90	Tahara M, Ishimaru T, Fujino Y, et al.	呼吸器内科	A new scoring system for predicting in-hospital death after lung cancer surgery (the SABCIIP score) using a Japanese nationwide administrative database	Thorac Cancer 2022 Mar;13(6):870-875.	Original Article

小計10件

NO	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
91	Tanaka F, Yoneda K, Takenaka M, et al.	呼吸器・胸部外科	Treatment strategy of EGFR-mutated non-small cell lung cancer	J Thorac Dis 2022 Mar;14(3):602-606	Others
92	Tanaka Y, Luo Y, O'Shea JJ, et al.	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	Janus kinase-targeting therapies in rheumatology: a mechanisms-based approach	Nat Rev Rheumatol 2022 Mar;18(3):133-145	Review
93	Tomisaki I, Harada M, Minato A, et al.	泌尿器科	Impact of the Use of Proton Pump Inhibitors on Pembrolizumab Effectiveness for Advanced Urothelial Carcinoma	Anticancer Res 2022 Mar;42(3):1629-1634	Original Article

総計93件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 手順書の主な内容</p> <p>人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書 研究責任者・研究者等の責務 研究の適正な実施 インフォームド・コンセント</p> <p>安全性情報に関する標準業務手順書 有害事象等に関する対応</p> <p>人体から取得された試料及び情報等の保管に関する手順書 人体から取得された試料及び情報等の取扱い</p> <p>モニタリングの実施に関する手順書 モニタリングを実施する際の手順</p> <p>産業医科大学倫理委員会監査の実施に関する手順書 倫理委員会監査を実施する際の手順</p> <p>臨床研究審査委員会の審査等に関する手順書 臨床研究審査委員会の運営 倫理審査研究計画書等の提出及び審査の手順</p>	
③ 倫理審査委員会の開催状況	大学倫理委員会 年12回 臨床研究審査委員会年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無

<p>・ 規定の主な内容</p> <p>産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理することを目的とした規定を整備している。</p> <p>規定では「管理すべき利益相反」状況を判断する基準を指針として示すとともに、産学連携活動を適切に推進するため利益相反委員会を設置し、教職員等に対して利益相反に該当する事例が発生又は発生が予測され、学校法人活動に悪影響を与えられるときは当該事例を委員会に報告することを義務付けている。</p>	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>1. 人を対象とする生命科学・医学系研究倫理に関する講習会（令和3年9月22日、27日開催）</p> <p>講習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の要点</li> <li>—倫理指針ガイダンスから学ぶ重要ポイント—</li> </ul> <p>2. 人を対象とする生命科学・医学系研究倫理に関する講習会（令和4年3月23日、30日開催）</p> <p>講習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他機関共同研究審査の要点</li> <li>—中央一括審査において留意すべき点—</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

産業医科大学病院の診療科等に所属して行う臨床修練（専門研修プログラム） 及び産業医実務研修 a 各診療科に特化した専門的な臨床修練 b 診療を通じての臨床教育の補助的業務及び診療に関する研究 c 産業医科大学若松病院、労災病院等における臨床修練又は事業場、労働衛生機関等における産業医修練、或いはその両方の修練 d 産業医学基本講座の受講 e 産業医学実務講座の受講
---

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	141.24 人
-------------	----------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
田中 良哉	膠原病リウマチ内科、内分泌代謝糖尿病内科	診療科長	37年	
片岡 雅晴	循環器内科、腎臓内科	診療科長	19年	
原田 大	消化管内科、肝胆膵内科	診療科長	34年	
塚田 順一	血液内科	診療科長	37年	
矢寺 和博	呼吸器内科	診療科長	27年	
足立 弘明	神経内科、心療内科	診療科長	30年	
田中 優子	脳卒中血管内科	診療科長	18年	
吉村 玲児	神経・精神科	診療科長	33年	
楠原 浩一	小児科	診療科長	38年	
平田 敬治	消化器・内分泌外科	診療科長	34年	
田中 文啓	呼吸器・胸部外科	診療科長	35年	
西村 陽介	心臓血管外科	診療科長	35年	
山本 淳孝	脳神経外科	診療科長	25年	
酒井 昭典	整形外科	診療科長	35年	
江角 元史郎	小児外科	診療科長	18年	
中村 元信	皮膚科	診療科長	30年	
安田 浩	形成外科	診療科長	37年	
藤本 直浩	泌尿器科	診療科長	37年	
近藤 寛之	眼科	診療科長	33年	
鈴木 秀明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	38年	
吉野 潔	産婦人科	診療科長	30年	
青木 隆敏	放射線科	診療科長	32年	
堀下 貴文	麻酔科	診療科長	25年	
佐伯 覚	リハビリテーション科	診療科長	33年	
眞弓 俊彦	救急科	診療科長	36年	

久岡 正典	病理診断科	診療科長	33年
蒲地 正幸	集中治療部	部長	36年
竹内 正明	臨床検査・輸血部	部長	36年
楠原 浩一	総合周産期母子医療センター	センター長	38年
宮脇 昭彦	歯科・口腔外科	診療科長	35年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)
1 がん看護講座 I 年12回 (延参加者数 : 953人) 2 NSTセミナー 年5回 (延参加者数 : 1021人) 3 医薬品安全セミナー 年5回 (延参加者数 : 246人) 4 合同がんセンター R4. 3. 9 (参加者数 : 50人) 5 認知症センター かかりつけ医研修会 R3. 11. 17 (参加者数 : 15人) 6 抗菌薬適正使用セミナー 年6回 (延参加者数 : 35人) 7 転倒・転落防止対策研修会 R3. 12. 6 (参加者数 : 45人) 8 ME安全セミナー R4. 3. 10 (参加者数 : 41人)
② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)
1 個人情報保護研修会 R3. 11. 1~15 (参加者数 : 1991人 ※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む) 2 医療安全(医療事故防止・病院感染防止) 職員全体研修会 (参加者数 : R3. 6. 7~18 : 1786人、R3. 9. 6~17 : 1823人、R4. 1. 11~24 : 1829人 ※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む) 3 診療用放射線の安全利用のための職員研修会 R3. 10. 11~22 (参加者数 : 606人※DVD及びe-ラーニングによる受講を含む) 4 委託業者医療安全研修 R3. 10. 18~11. 6 (参加者数 : 141人 ※DVDによる受講) 5 人を対象とする生命科学・医学系研究倫理に関する講習会 (参加者数 : R3. 9. 22、R3. 9. 27 : 238人 ※別途、DVD及びe-ラーニングによる開催 R4. 3. 23、R4. 3. 30 : 209人 ※別途、令和4年度DVD及びe-ラーニングによる開催)
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 田中 文啓	
管理担当者氏名	医療情報部長 感染制御部長 医薬品安全管理責任者 看護部長 放射線部長 医療安全室長 医療支援課長	林田 賢史 鈴木 克典 中村 圭佑 大松 真弓 青木 隆敏 木戸 敦子 河津 郁徳 医療の質・安全管理部長 医療放射線安全管理責任者 医療機器安全管理責任者 薬剤部長 病院管理課長 医事課長
		古賀 和徳 青木 隆敏 高橋 一久 植木 哲也 江島 朋子 井上 明彦

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院管理課
		各科診療日誌	各病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療支援課
		看護記録	看護部
		検査所見記録	臨床検査・輸血部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療支援課	電子カルテ及びそれぞれの部署にてファイル形式で管理している。 診療記録等を病院外に持ち出すことは厳禁としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課
		高度の医療の提供の実績	病院管理課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
		高度の医療の研修の実績	病院管理課
		閲覧実績	病院管理課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
			年度ごとに電子媒体において管理及びファイルにおいても管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	年度ごとに電子媒体において管理及びファイルにおいても管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部及び医療安全室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療安全管理部門の設置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		監査委員会の設置状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部及び医療安全室
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
閲覧責任者氏名	病院事務部長 伊藤 浩二
閲覧担当者氏名	病院管理課長 江島 朋子 病院管理課長代理 黒木 一雅
閲覧の求めに応じる場所	診療情報閲覧室
閲覧の手続の概要 病院事務部入口に診療情報等閲覧受付と表示しており、閲覧希望者が来院された際には、病院管理課にて受付を行い、病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧簿に氏名等を記載して頂き診療情報等閲覧室にて閲覧することとなっている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全に関する基本的考え方</li> <li>2) 医療安全のための委員会その他組織に関する基本事項</li> <li>3) 医療安全のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4) 医療事故及び病院感染の発生状況の報告等に関する基本方針</li> <li>5) 医療事故又は病院感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8) 診療用放射線の安全利用のための指針</li> <li>9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年 12 回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療事故の原因の分析並びに医療事故防止の具体策の調査及び検討に関すること。</li> <li>2) 医療事故に関する諸記録の点検に関すること。</li> <li>3) 医療事故発生時の対応状況の調査及び指導に関すること。</li> <li>4) 医療事故防止対策の実施状況の調査及び指導に関すること。</li> <li>5) 医療の質向上、医療安全のための啓発、教育及び広報に関すること。</li> <li>6) 医療の質向上、医療安全のためのモニタリングに関すること。</li> <li>7) その他医療の質向上、医療安全に必要な事項に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 当院における医療安全向上のための取り組み</li> <li>2) 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）について</li> <li>3) 感染防止マニュアルの改訂・微生物検査と感染対策について</li> <li>4) 医薬品の安全な使用について</li> <li>5) 医療機器及び医療ガスの安全管理</li> <li>6) 医療安全監査委員会とICの傾向と対策について</li> <li>7) 集中治療における感染対策</li> <li>8) 診療用放射線の安全利用のための研修</li> <li>9) 病院放射線業務従事者の実務概要</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療事故発生時の原因究明、再発防止策の立案・実施・周知・確認</li> <li>2) 医療安全対策マニュアルの作成、周知、評価、見直し</li> <li>3) 医療安全に関する職員全体研修会の開催</li> </ol> </li> </ul>	

- 4) 医療の質・安全管理委員会の定期的開催（毎月）
- 5) 各部署のセーフティマネージャーとの連携
- 6) 医療安全に関するその他の委員会との連携
- 7) インフォームド・コンセントに関する管理、指導
- 8) 医療安全に関する診療録の記載確認、指導
- 9) 全死亡症例及び管理者が定める水準以上の事象発生時の確認
- 10) 医療安全に関する情報の収集、提供
- 11) 医療安全対策推進のための調査、研究
- 12) 院内の安全に関する相談、助言等、医療安全内部通報への対応等

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2) 病院感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項</li> <li>3) 病院感染対策のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4) 病院感染の発生状況の報告等に関する基本方針</li> <li>5) 病院感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8) その他病院感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院感染の原因の分析並びに感染防止の具体策の調査及び検討に関すること。</li> <li>2) 病院感染に関する諸記録の点検に関すること。</li> <li>3) 病院感染発生時の対応状況の調査及び指導に関すること。</li> <li>4) 病院感染防止対策の実施状況の調査及び指導に関すること。</li> <li>5) 病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること。</li> <li>6) その他病院感染の防止に関すること。</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 11 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 標準予防策：手洗い・個人防護具の装着・オムツ交換の実際</li> <li>2) 産業医科大学病院における院内感染対策の取組み</li> <li>3) 手指衛生と標準予防策</li> <li>4) 職業感染対策</li> <li>5) インフルエンザ・ノロウイルス対策</li> <li>6) 感染防止マニュアルの改訂・微生物検査と感染対策について</li> <li>7) 外部委託のスタッフを対象とした感染防止研修会 (手指衛生、個人防護具、分別廃棄、針刺事故防止、休務のこと)</li> <li>8) 流行性感染症と感染経路別予防策</li> <li>9) 院内感染予防研修</li> <li>10) 集中治療における感染対策</li> <li>11) 感染防止対策の基本・感染経路別の対応</li> </ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>JANIS検査部門、ICU部門、手術部位感染サーベイランスへ参加している。結果は、病院感染防止委員会や関連部署へフィードバックし、周知をしている。手指衛生サーベイランスに関しては結果をセーフティマネージャー連絡会議、感染防止リンクナース会、感染制御部Information等で全職員に対して周知している。</p>	

- 1) 感染制御部ニュース及びInformationの発行にて広報
- 2) セーフティーマネージャー連絡会議を通じて広報
- 3) 病院感染防止委員会を通じて広報
- 4) 手洗い遵守に向けた取り組み
- 5) 病院職員の抗体価検査と予防接種の実施（麻疹、水痘、風疹、ムンプス）
- 6) 感染性廃棄物分別の徹底
- 7) 抗菌薬適正使用セミナーの開催
- 8) 地域連携の充実（カンファレンスなど）
- 9) 体調不良者リストによる職員の感染者の早期発見

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 輸液器材、カリウム製剤の基本</li> <li>2) 医療用麻薬の管理と適正使用</li> <li>3) 糖尿病薬（インスリン）の適正使用について</li> <li>4) 免疫チェックポイント阻害剤の適正使用</li> <li>5) 不眠症治療薬の適正使用</li> <li>6) 医薬品の安全な使用について</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成（有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：               <p>医薬品業務手順書には、次に掲げる業務に関する事項を記載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品の採用</li> <li>2) 医薬品の購入</li> <li>3) 医薬品の保管・管理</li> <li>4) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤</li> <li>5) 患者に対する与薬や服薬指導</li> <li>6) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い（収集、管理、周知）</li> <li>7) 他施設（病院等、薬局等）との連携</li> <li>8) 手順書の遵守状況の確認</li> </ol> <p>従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているかについて、月1回各部署から提出される「医薬品の安全使用のための業務手順チェックリスト」にて、医薬品の適正管理や与薬時における患者確認、6R+Aの遵守等の業務の実施状況を確認している。医療安全管理委員会の定期巡視においても確認を実施している。</p> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小児交互性片麻痺に対する塩酸フルナリジンによる治療</li> <li>② 炭酸ガス経皮吸収療法に対するハイドロジェルによる治療</li> </ol> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬剤師が未承認等を発見した場合の報告体制の確立</li> <li>2) 薬剤師による病棟及び外来の月1回院内ラウンドの実施</li> <li>3) 持参薬の一元管理による効率的な鑑別作業の運用</li> <li>4) 入院前の服薬状況確認にて、術前休薬の必要な薬剤等の鑑別</li> <li>5) 経口糖尿病薬（SGLT2阻害薬及びメトホルミン製剤）の術前休薬ルール策定</li> <li>6) 薬歴ファイルに基づくがん化学療法処方監査の徹底</li> <li>7) 入院・外来化学療法患者に対する注射用抗がん剤の調製と服薬指導</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 114 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 新しい医療機器の導入時の研修 新規の医療機器を導入する際には、使用予定者に対する研修を行う。</p> <p>2) 特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関する研修 以下の医療機器について、年間各2回以上、当該医療機器に携わる医療従事者等の従業者に対し、①医療機器の有効性・安全性に関する事項、②使用方法に関する事項、③保守点検に関する事項、④不具合が発生した場合の対応に関する事項、⑤使用に関して特に法令上遵守すべき事項についての研修を行っている。</p> <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 (2) 人工呼吸器 (3) 血液浄化装置 (4) 除細動装置 (5) 閉鎖式保育器 (6) 診療用高エネルギー放射線発生装置 (7) 診療用粒子線照射装置 (8) 診療用放射線照射装置</p> <p>3) その他、必要に応じて医療機器に関する研修を行っている。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>以下の医療機器について、保守点検を行い、個々の医療機器ごとに①医療機器名、②製造販売業者名、③型式、型番、購入年、④保守点検の記録(年月日、保守点検の概要、保守点検者名)、⑤修理の記録(年月日、修理の概要、修理者名)を記録している。保守点検の実施状況を評価し、必要に応じて医療安全上の助言を行っている。また、保守点検の一連の手順について、職員間で相互に確認を行わせ、保守点検の適切な実施の徹底を図っている。</p> <p>1) 人工心肺装置及び補助循環装置 2) 人工呼吸器 3) 血液浄化装置 4) 除細動装置 5) 閉鎖式保育器 6) CTエックス線装置 7) 診療用高エネルギー放射線発生装置 8) 診療用粒子線照射装置 9) 診療用放射線照射装置 10) 核磁気共鳴装置</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：無</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1) 医療機器の不具合情報や安全性情報等の情報を、日本医療機能評価機構、PMDA、メーカーから収集する。院内発生事例は、院内のインシデント・アクシデント報告により収集する。
- 2) 収集した情報を医療の質・安全管理部定例会議で報告し、院内版の医療安全情報等で周知を行う。また、院内発生事例については、メーカーへ使用状況等の情報を伝えるとともに、医療機器安全性情報につきPMDAへ報告を行う。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

<p>① 医療安全管理責任者の配置状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>有・無</p>
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は、病院長の命を受け医療の質・安全管理部の業務を統括し、以下の業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全管理部の各種会議に出席し、統括すること             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の質・安全管理部定例会議（毎週1回）</li> <li>(2) 医療の質・安全管理委員会（毎月1回定期及び臨時）</li> <li>(3) 事例検証会、MMカンファレンス（重大事例が発生した場合）等</li> </ol> </li> <li>2) 上記会議の決定に基づき、各部署に周知・改善依頼等を行うこと</li> <li>3) 重大事例発生時の医療の質・安全管理部としての対応を指揮すること</li> <li>4) 病院運営会議等の院内の会議での医療安全にかかる決定事項を医療の質・安全管理部に周知すること</li> <li>5) 医療安全内部通報窓口への通報等を通じて、その他医療安全管理の適正な実施に重大な疑義が生じている場合に、必要に応じ、当該部署に指導等を行うこと</li> <li>6) 医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者の業務状況を随時確認し必要に応じて指導を行うこと</li> <li>7) 医療安全管理に関する研修を定期的を受講し、医療安全への理解を深めること</li> <li>8) その他、医療の質・安全管理部の統括者として、必要な指導・調整等を行うこと</li> </ol> <p>※平成二八年改正省令附則第三条第一号の適用を受け、平成28年10月1日より配置。</p>	
<p>② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（4名）・無</p>
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指名した薬剤師（薬品情報室の薬剤師）に以下の業務を行わせ、定期的に報告を受ける。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 院内の医薬品の使用状況を確認する（月1回）。</li> <li>(2) 未承認薬に関する情報は、PMDA 未承認薬データベースや海外の添付文書等から収集する。</li> <li>(3) 適応外使用に関しては、厚生労働省、社会保険診療報酬支払基金のウェブサイト、学会ガイドラインや論文等から、処方必要性や副作用等の安全管理に係る情報を収集する。</li> <li>(4) 禁忌使用に関しては、学会ガイドラインや論文等から、処方の必要性や副作用等の安全管理に係る情報を収集する。</li> <li>(5) その他、採用医薬品全般の添付文書の情報のほか、医薬製造販売業者、行政機関、学術誌等からの情報を広く収集する。</li> <li>(6) 添付文書情報（禁忌等）の改訂、追加等はDI レターにて周知する（月1回程度）。</li> <li>(7) 緊急安全性情報等が発出された場合は直ちに情報収集し、処方医や各診療科に発信する。</li> </ol> </li> <li>2) 1)の報告を踏まえ、医薬品の適正使用のために必要な情報を院内メールや書面により院内全体に周知する。必要に応じ、担当薬剤師に書面により周知状況を確認させる。</li> </ol> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 使用状況の把握             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 未承認新規医薬品（当院で初めて使用する未承認医薬品については、医薬品安全管理責任者が、未承認新規医薬品担当部門の責任者・同評価委員会の委員として未承認新規医薬品</li> </ol> </li> </ol>	

<p>審査手続に参加して、承認結果及び使用状況を把握する。</p> <p>(2) 院内で定める手順に従い、未承認、適応外、禁忌を使用する際、医師は薬品情報室に連絡し必要に応じて申請を行う。</p> <p>(3) その他の未承認等の医薬品の使用については、指名した薬剤師（調剤室又は注射調剤室所属の薬剤師、病棟薬剤師）に発見を努めさせる。指名した薬剤師が発見した場合は、「未承認・適応・禁忌医薬品使用報告書」により報告を受ける。</p> <p>2) 使用の必要性等の確認、指導</p> <p>(1) 指名した薬剤師（調剤室又は注射調剤室所属の薬剤師、病棟薬剤師）が未承認医薬品の使用を発見した場合は、当該診療科に対し、未承認新規医薬品使用申請（新規の場合）や臨床倫理審査申請（新規以外の場合）をするように指導させる。</p> <p>(2) これらの申請がなされた場合、その審査手続の中で医薬品安全管理責任者が、申請者に対し、処方の必要性や論文等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等を確認し適宜指導を行うことになる。</p> <p>(3) 結果の共有</p> <p>A 未承認新規医薬品の使用は、医療の質・安全管理部定例会議、医療の質・安全管理委員会で周知する。</p> <p>B 薬剤部内にはメール、回覧にて周知する。</p> <p>C 必要に応じて、指名した薬剤師（薬品情報室所属の薬剤師）に、院内全体に周知させる。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 病棟薬剤科、職種 薬剤師 ） 1 名</p> <p>（所属：薬剤部 薬品情報管理科、職種 薬剤師 ） 3 名</p> <p>（所属：薬剤部 調剤管理科、職種 薬剤師 ） 2 名</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：  事例報告に関連して説明等の実施にかかる診療録等の閲覧・当事者へのヒアリング等を行い、規程（要領）の遵守状況を確認し、不適切な事例が認められた場合は指導する。</p> <p>※平成二八年改正省令附則第三条第一号の適用を受け、平成 28 年 10 月 1 日より責任者を配置。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療記録管理専門委員会において、多職種で構成された監査人が毎月、診療記録の監査を行い、その結果をもとに報告書を作成し、病院長へ報告する。病院長は、当該診療科長へ監査結果を通知するとともに、改善報告書の提出を求める。</p> <p>診療記録の記載方法や記載すべき内容等については、診療記録記載マニュアルで定めるとともに、「診療記録管理専門委員会だより」を発行して職員への周知を行っている。</p> <p>また、IC 記録に特化した IC 点検を実施し、同意書の取得状況や意思決定の支援状況などを確認し、医療の質・安全管理部へ報告している。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況 有・無

・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（9）名  
 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名  
 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名  
 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名  
 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1）医療の質・安全管理委員会等で用いられる資料の作成に関する事
- 2）医療事故に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関する事
- 3）患者や家族への説明など医療事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関する事
- 4）医療事故の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導に関する事
- 5）医薬品に係る安全管理及び使用に関する事
- 6）医療機器に係る保守点検及び安全使用に関する事
- 7）医療事故防止対策に係る連絡調整に関する事
- 8）その他医療事故防止対策の推進に関する事

心電図未判読率、脳波未判読率、目的外診断があった放射線画像所見及びパニック値をモニタリングし、医療の質・安全管理委員会において報告している。医療安全職員全体研修会においては、講演内容の確認テストを実施し、従業者の医療安全の認識具合をモニタリングし、医療の質・安全管理委員会において報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（2件）  
 ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）  
 ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：  
 平成29年2月27日付けで高難度新規医療技術の提供に関する要領を施行した。令和3年度中に当該技術を用いた医療の提供を行いたい旨の申請は4件で、2件は適当、残り2件は該当しないと判断した。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有・無 ）  
 ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）  
 ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）  
 ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：  
 平成29年2月27日付けで未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する要領を施行した。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有・無 ）  
 ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 316 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 64 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容  
院内全死亡症例及び管理者が定める水準以上の事象(医療安全対策マニュアル「医療安全に関する報告基準」)該当例に関して医療の質・安全管理部に報告された内容を、医療の質・安全管理部定例会議(毎週1回開催)で報告・検討しており、その議事概要のメール配信(翌週)により、医療の質・安全管理委員会委員が上記検討内容を確認している。また、定期の医療の質・安全管理委員会(毎月1回開催)において、前月の「医療安全に関する報告基準」該当例に関して、再度確認を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り(  (病院名：日本大学医学部附属板橋病院・国立国際医療研究センター病院)・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ(  (病院名：日本大学医学部附属板橋病院・国立国際医療研究センター病院) )・無)
- ・技術的助言の実施状況  
書面審査で実施したこともあり、技術的助言は、特になし。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
病院における患者、家族等からの相談、苦情、意見、要望等に対して、迅速かつ適切に対応するため、平成28年改正前医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の23第3号の規定に基づき、平成15年4月1日に患者相談窓口を設置した。相談窓口は患者サービス室地域連携・患者相談係が担当し、当該係には、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員を配置し、責任者は患者サービス室長をもってあてている。また、窓口の受付時間は病院外来診療日の午前8時30分から午後5時15分までとしている。患者相談窓口は相談等を受け付け、相談等の内容のうち窓口で対応できないものについては関係する部署へ取り次ぐとともに、当該部署からの回答、対応を得た後に相談者へ回答を行っている。また、相談等の内容で病院長に報告が必要な事例については、適宜その対応状況等を病院長に報告を行っており、さらに、医療の質・安全管理部及び医療安全室と相談等の情報を共有するため、月2回ミーティングを実施し、必要に応じて医療事故再発防止、安全対策の見直し及び病院運営改善等に活用している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
従業者が連携、協働して医療を提供するために必要な知識、技能であって高度な医療の提供に必要な事項として、「当院における医療安全向上のための取り組み」(令和3年度第1回)、「医薬品の安全な使用について」・「医療機器及び医療ガスの安全管理」(令和3年度第2回)、「皆さんに伝えたい! 医療安全監査委員会とICの傾向と対策について」(令和3年度第3回)について医療安全職員全体研修会で研修を行った。  
また、「診療用放射線の安全利用のための研修」、「病院放射線業務従事者の実務概要」(令和3年度第1回)について診療用放射線の安全利用のための職員研修会で研修を行った。

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
(管理者)  
2021/11/30 医療安全に関するワークショップ  
2021/12/23 2021年度特定機能病院管理者研修
- (医療安全管理責任者)  
2021/12/8 2021年度特定機能病院管理者研修
- (医薬品安全管理責任者)  
2021/11/30 医療安全に関するワークショップ  
2022/ 2/14 2021年度特定機能病院管理者研修
- (医療機器安全管理責任者)  
2021/11/30 医療安全に関するワークショップ  
2022/ 2/14 2021年度特定機能病院管理者研修

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・第三者による評価の受審状況  
2019年12月16日～12月18日に公益財団法人日本医療機能評価機構が行う医療機関第三者評価「病院機能評価 3rdG : Ver. 2.0 (主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院)」の審査を受け、日本医療機能評価機構認定病院として認定を受けた。  
認定期間／2020年4月25日～2025年4月24日
- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況  
審査結果をホームページに公開している。
- ・評価を踏まえ講じた措置  
感染制御部体制整備として、医師、薬剤師を増員した。

(注) 記載時点の状況を記載すること

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

- 1 人格が高潔で、学識が優れ、本学の設立目的に基づき、地域及びグローバルな視野と患者を第一とする姿勢からの医学教育、医学研究、高度医療に貢献できる医師であること。
- 2 高度かつ先端的な医療を提供する特定機能病院の管理者として必要な医療安全管理業務の知識・経験を有すること。また、医療安全を第一に考える姿勢から、管理者としての医療安全確保に対する指導力を発揮できること。
- 3 特定機能病院を管理運営する上で必要な運営及び経営の双方の資質・能力を有し、院内の多様な職種の意見を尊重し運営に反映することに留意できること。また、状況の変化に適切に対応し、中長期的な目標に向かい具体的な構想を示し、強いリーダーシップを持って運営・経営ができること。
- 4 本館耐震工事及び急性期棟新築のプロジェクトに対し、医療者と経営者の双方の視点からバランスのとれたリーダーシップを発揮し、プロジェクトを推進できること。
- 5 近隣の医療機関、医師会及び行政機関等と良好な関係を保ちつつ、本院が北九州医療圏において、地域医療の中核的役割を果たす使命を達成できること。
- 6 若松病院との良好な協調及び機能分化により、両院が一体となって地域医療への貢献を果たすと同時に、経営面でも両院の発展に寄与できること。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（  有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

管理者選考を行う年度にホームページを公開する

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無			有・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 病院の運営方針に関する事項</li> <li>(2) 病院運営に係る事業計画及び予算に関する事項</li> <li>(3) 病院の経営施策に関する事項</li> <li>(4) 医療に関する重要事項</li> <li>(5) 病院及び産業医科大学若松病院の運営に係る連携、連絡調整等に関する事項</li> <li>(6) 両病院の役職者等の選考に関する事項</li> <li>(7) その他病院運営に関する重要事項</li> <li>(8) 病院人事に関する事項</li> </ul> </li>   <li>・審議の概要の従業者への周知状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>各会議体において、報告事項として資料、議事録を回付している。</li> </ul> </li>   <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・公表の方法</li>   <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
田中 文啓	○	医師	病院長
松田 晋哉		医師	副院長
楠原 浩一		医師	副院長
平田 敬治		医師	副院長
大松 真弓		看護師	副院長
藤本 直浩		医師	副院長
吉田 剛		常勤役員	常務理事
伊藤 浩二		事務職員	病院事務部長
高岡 通		事務職員	病院事務部部長
矢寺 和博		医師	診療科長
山本 淳考		医師	診療科長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容
  - 1 病院長は、医療法に基づく管理者として、理事長の命を受けて、病院の運営に関する次に掲げる職務を行う。
    - (1) 医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保に関する事。
    - (2) 高度かつ先端医療の提供に関する事。
    - (3) 病院組織の総合的な把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営に関する事。
    - (4) 高度の医療技術の教育及び研究に関する事。
    - (5) 学生、医師、医療技術職の医療に関する教育及び研修の実施に関する事。
    - (6) 地域医療機関との連携及び発展に関する事。
    - (7) 診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理に関する事。
    - (8) 病院に関する経営情報の把握と経営の管理及び改善に関する事。
    - (9) 産業医科大学病院総合医療情報システム等の維持及び管理に関する事。
    - (10) 病院の個人情報管理に関する事。
    - (11) 病院の事業計画、予算の策定及び管理に関する事。
    - (12) 病院職員への運営及び経営方針等重要事項の周知に関する事。
    - (13) その他理事長から特別に委任された事項
  - 2 病院長は、管理運営上、必要な意思決定を行うとともに、人事及び予算執行に関する適切な権限を有する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
  - (1) 副院長を5名置き、病院長の職務の補佐を行っている。
    - ① 総務・経営担当
    - ② 診療・安全等担当
    - ③ 体制整備・人材育成担当
    - ④ 看護・患者サービス担当
    - ⑤ 病院間連携担当（産業医科大学病院若松病院長）
  - (2) 財務部経営分析室において以下の業務を行っている。
    - ① 経営分析に関する事。
    - ② 経営分析に係る企画、調整に関する事。
  - (3) 病院長特命補佐は、病院長の職務の補佐を行っている。
    - ① 診療報酬に関する事。
    - ② 地域医療連携に関する事。
    - ③ 医療情報・医療支援に関する事。
    - ④ 医師の働き方改革に関する事。
    - ⑤ その他病院長が必要と定める事。
  - (4) 看護部特命事項担当部長を病院長直轄として配置し、以下の業務を行っている。
    - ① 増築する急性期診療棟に係る業務
      - ・ 病床管理（ベッドコントロール）
      - ・ 手術関係
    - ② 働き方改革に係る業務
      - ・ タスクシフトの促進
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
特定機能病院管理者安全研修の受講（副院長）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>管理者の下で医療安全管理責任者、医療の質・安全管理部、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者の業務が適切に実施されているか医療の質・安全管理委員会の議事や実地調査により監査を行っている。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>産業医科大学病院ホームページ上に公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
横山 晋二	(学)久留米大学	○	医療に関する院外の専門家	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
林 ゆかり	(学)久留米大学		医療に関する院外の専門家	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
大杉 一之	(大)北九州市立大学		医療を受ける者その他の医療従事者以外の院外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
阿部 慎太郎	(学)産業医科大学		病院長が指名する本学職員	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1
高岡 通	(学)産業医科大学		本学病院事務部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 学校法人産業医科大学監事および監査室による内部監査を実施する。

[監査事項]

- ① 諸法規、学校法人の規則、規程、達等の実施状況
- ② 業務の執行及び経営の状況
- ③ 予算及び事業の執行状況
- ④ 資産の取得、管理及び処分に関する事項
- ⑤ 決算報告書及び財務諸表

(2) 監査の結果について、開設者に通知および報告する。

(3) 開設者は監査結果に基づき、改善等の措置の必要がある事項については管理者に業務改善等の措置を講じるように求める。

(4) 管理者は、速やかに対策、措置を講じ、その改善状況報告書を開設者へ提出する。

(5) 監事は、理事会その他重要な会議に出席し、意見を述べることができる。

・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )

・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  )

・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校法人産業医科大学理事会</li> <li>② 学校法人産業医科大学学内役員会</li> </ul> </li>   <li>・ 会議体の実施状況（ ①年2回 ②年21回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ ①年2回 ②年21回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別できないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 医療安全に関する内部通報のフロー図を医療安全対策マニュアル及び医療安全対策マニュアル (ポケット版) に掲載するとともに院内各部署に掲示している。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>住民及び患者が当大学病院を適切に選択できるように以下の方法で情報発信を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 病院ホームページやSNS（LINE）を通じて、各診療科が担当する疾患の診断及び治療方法等の紹介、先進医療の紹介、がん診療実績の紹介</li><li>2 学外向け広報誌を通じて、健康に関する記事の掲載、掲載された新聞紙面等の紹介</li><li>3 がんに対する検診や治療方法などについて専門医による市民公開講座の開催</li><li>4 さまざまな疾患の最新治療や予防方法などについて医療スタッフが講師として希望の地域に伺う出前出張公開講座の開催</li><li>5 新聞紙面での手術等の診療実績の掲載</li><li>6 テレビ等への出演による治療方法の説明</li></ol>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 がんセンターにおいて、部位ごとに関連する診療科が連携して、集学的治療を実施している。さらに、緩和ケアセンターと連携して緩和医療の提供、遺伝カウンセリング科と連携して遺伝子パネル検査、遺伝性腫瘍などのがんゲノム医療を実施している。</li><li>2 総合周産期母子医療センターにおいて、ハイリスク妊娠管理、大量出血、DICなど集学的治療が必要な症例に産婦人科、小児科、小児外科、内科、外科の専門医が連携をとって治療を行っている。</li><li>3 血友病センターにおいて、個々の患者が抱える問題を多面的にとらえ、個別療法を提供できるように内科（小児科）、整形外科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科の担当医による毎月の総合診察外来の実施、また、患者の各科治療・処置・検査における止血管理において各科と連携・協働し治療を行っている。血友病保因者である女性の治療・妊娠期から産褥期の止血管理や新生児の出血リスクへの対応のため、産婦人科、小児科との連携も行っている。</li></ol>	

4 脳卒中センターにおいて、脳卒中血管内科、脳神経外科、脳神経内科、放射線科、リハビリテーション科、並びに救急科の専門医が、急性期医療を適切かつ効率的に提供し高度で包括的なチーム医療を行っている。

5 呼吸器病センターにおいて、各科の専門性を最大限に生かした「集学的治療」を提供するため、呼吸器・胸部外科、呼吸器内科、放射線科、放射線治療科、緩和ケアセンターなどの各領域の専門医、看護師、薬剤師、事務職員が合同で、胸部CT、MRI、超音波検査、FDG-PETなどの画像診断や内視鏡検査、病理診断、社会環境などの情報を共有のもとに診断・治療戦略を立てたうえで、拡大手術や低侵襲手術、外来および入院化学療法、放射線治療や緩和照射、緩和ケアなどを積極的に行っている。特に化学療法の際には、抗癌化学療法の専門医、薬剤師、専門の看護師が連携して治療を行っている。また、呼吸器内科医でもある緩和ケアセンター専従医師により、歯科評価を含めた緩和ケアも提供している。

さらに、肺炎、肺真菌症、肺非結核性抗酸菌症、気管支拡張症などの難治性呼吸器感染症に対しても、分子生物学的手法などの先進的な手法を含めた積極的な原因菌検索とそれに基づいた適切な抗菌化学療法を実践している。また、気胸、膿胸や治療抵抗性の肺非結核性抗酸菌症などに対する外科的治療も積極的に行っている。

6 四肢外傷センターにおいて、救急科、集中治療部のみならず、感染制御部、放射線科、整形外科、リハビリテーション科、総合診療科などと診療において協力体制をとり、多発外傷に対する治療処理と全身・局所状態を確認しながら段階的な四肢外傷治療を行っている。また、産業医実務研修センターや産業生態科学研究所とタイアップして労働災害に関しての共同研究を行っている。

7 就学・就労支援センターにおいて、治療と就学・就労の両立支援を希望する患者に対して就学・就労支援センター所属の多職種（看護師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）からなる両立支援コーディネーターが患者との面談と支援を行っている。必要に応じて、両立支援科医師と主治医、すべての診療科に配置している両立支援科兼任医師が就労復帰に必要な配慮等を示す「意見書」を作成している。また、就学・就労を支援するために薬剤師や療法士、栄養士などの専門職もカンファレンスに参加している。